

OB通信

3期 岩井 修

長年勤務した会社を退社し、新規巻き直しでニッショーに入社しましたが、60歳を迎え、仕事が一段落したこともあり、この4月退社しました（現在失業中）。忙しくはしておりますが、心の中はゆっくり時間が流れております。「やまざと」を読んでおりますと、KUWVの人々（OBを含む）の心の中には、いつもこのような時間の流れがあったのですね。

この7月よりインターネットというヤヤコシイものにも入りました。ワングルのHPにも早速タッチしてみました。皆様の努力を本当に有り難いと思っております。

さて私は家庭の事情もあり、現在蓄電中です。錆付いた英会話を磨き直し。コンピューターももう少しできるようになりたいものです。来年はIntercultural Volaunteerとして活動を開始する計画です（現在登録はしておりますが、自分でやらねば何も始まりません）。

さて、天敵田村教祖に一言：“子供の躰は父親の役割”には賛同します。最近講演会で“子供が親の思うように育ったら「子育て失敗」”と聞きました。我が家の息子は田村教祖のように育ってしまいました。「大成功」です！

お誘いのあった南竜ヶ馬場へは残念ながら行けませんでした。前回のメールでは“家の事情”と、軽く流しましたが、実は母の介護が大変で、愚妻より「協力しないなら里に帰らせていただきます」と宣言されて、仕事を辞めて現在失業中なのです。特にお許しを得て、9月9日～10日に立山で開催された第3期WVOB会には出席できましたが、本当に楽しいひと時でした。来年は「山の坊スキー場周辺」で開催の予定だそうです。その時村田女史（お爺さんとお婆さんに紛れ込んだ美人）が“オブラチナヤ山”に登った話をされ、ワングルHPに詳細あり、とのことで、久しぶりにHPを拝見しました。

私は学校に通うのに忙しくしております。先日英会話学校の先生から「禅とは何か？」と質問され、困りました。正解は“臆らずない”（達磨禅師の答え）ですが、それでは理解してもらえません。現在、禅の研究とその翻訳に励んでおります。その先生は10月末にはアメリカに帰りますので、それまでに何とか“禅”の概念を把握してもらいたいと考えております。

また、来年のWV活動に備えて、身体のトレーニングのため（実は愚妻に催促されて）畑仕事にも励んでおります。山口では雪が降らないため、野菜作りはこの秋からがシーズンです。来年には学校と失業保険を卒業し、本格的に第三の人生に入ります。今回第3期同期会の幹事をして頂いた西尾氏・高島氏、HPのmaintenanc

e をしておられる奥名会長、舟田さんに感謝して、メールを終わります。

04期森島

度々のOB通信、有難うございます。高度？なデジカメの画像も楽しく拝見しています。

GWもふくめ、山に小屋作業にと楽しんでおられることや、ご苦労さまなこと感謝です。

先日工学部へ行く用事がありましたが日帰りでしたので失礼してしまいました。久しぶりの金沢でした。この次は、山に入れたらと思いながら・・・

またOB通信を楽しみにしています。

06期大崎

「やまざと」13号受け取りました。また奥名会長からのメールも毎回受け取っております。いつも有り難うございます。御両人の情熱に引かれるように、ぼつぼつ山歩きをしております。同じ大学の隣の建物に同期の石橋さんがいますが、山の専門家（古生物学）で世界が相手（うらやましい！）なので、連れて行ってもらえません。一人で福岡周辺の常緑樹の暗い山道を徘徊しています。もうすぐ町の中を徘徊するような年齢になりましたが、遊びで、世界を徘徊できるようにしたいと思っています

07期四十万

すばらしい、便り有難うございました。先日私も、親父の初盆で富山に帰省するのに、8月12日に松本から乗鞍を超え高山経由、白山スーパー林道に入り、中宮温泉に一泊いたしました。翌日は、蛇谷を散策し、姥滝（今は姥ヶ滝というようです）を鑑賞し、どすの湯（今は親谷の湯と言うようです）へ行き、そこから白川村に入り井波にて欄間とお寺（瑞泉寺）を拝見してきました。8月14日には、例年のごとく第7期を中心とした二組で金沢カントリー倶楽部でゴルフをやりました。（メンバー 稲葉、影近、小松、田丸、澤田、新谷、宮本、干場、四十万）貴兄たちのますますのご活躍を心から祈りしております。

08期柴田

暑中お見舞い申し上げます。水戸は関東でも涼しい方とされていますが、年を取ると暑さが苦手になるようで、この暑さには参っています。体が水ぶくれ状態（？）で、だるくて糖尿病にでもなったかと思うくらいです。早く秋になればと思いつつ過ごして居ます。

さて、野沢温泉スキーのビデオ頂きました。貴重な記録を有り難うございました。もっと短いと思っていましたが、1時間ものをはじめから終わりまで楽しく見ました。プレーバックしつつ、家内と一緒に夜中の2時までかかりました。スキーの滑りもいろいろありますね！ここまで編集するのは、本当にご苦労だったと思います。KUWVのOB会にビデオディレクターの素養のある人が居るとは知りませんでした。

当方、7月下旬に1週間、シアトルへ行き、米国機械学会の会議に出席してきました。日本よ

り約10℃くらい温度が低く、また好天に恵まれ極めて快適でした。佐々木のいるシアトルマリナーズの試合を見て来ました。大リーグ3時間あまりの大変熱戦でした。また関を見て、シアトルから約100km南にあるレニエ山(4300m?だったか)のドライブを楽しみました。富士山によく似た、非常にかっこいい山です。氷山の近くまで行きました。そこでは、高山植物は日本とは少々異なるようですが、お花畑は丁度見頃でした。米国の国立公園は入園料が必要ですが、極めて自然が良く管理されていると感じました。涼しさと山と大リーグを満喫し、満足した1週間でした(会議の方もそれなりに???)

08期柳川

日頃より役員の皆様には、忙しい中種々の活躍・会員への配慮に本当に頭が下がります。何も出来ない私にとって、皆様の躍進を暖かく見守り静かなる声援を送るしか手助けができません。最近、提供されるホームページの更新日を確認しながら楽しみに拝見させていただいてます。インターネットの普及もかなり急速のようで、OB情報もこちらの方が、早く伝わりそうですね。筆不精の当方にとっても、こちらの方ならなんとなく対応出来そうです。会員のEメールアドレス等お願いしたいのですがどうすれば教えていただけますか。

09期清水

私(旧姓)鈴木あつ子
思い出して頂けたそうで・・・・・・。でも、違っているかもしれませんよ。素敵だなんていわれた事もあります。でもいいではありませんか、お互いにあやふやな記憶のなかで。

いつも、皆さんのためにいろいろお世話をして頂いて本当に頭が下がる思いです。有り難うございます。私たちは、実家が金沢にないので、なかなかそちらの集まりには行けません。山にもすっかりご無沙汰ですが、夫婦とも歩くことは好きで、その辺を歩くようにしています。いつかベルクハイムまでは行きたいと思っています。私は、会員ではないのですが、もと同期だった大島さんや、岩田さんなどにお会いしてみたいなあと思ったりしています。もし、大島さんに会う事があったら、よろしく言っておいてください。自然を愛したいと思いながら、雑事におわれている年月です。子供の受験が終わったと思ったら、去年は結婚式今年に娘の出産の手伝いとなかなか家を空ける事もできないものです。それではどうぞ元気で活躍ください。
清水一之の家族の者でした。

いつも連絡有難うございます。
本当に暑い夏でしたね。9月13日に、東京近辺のかたがたが集まって懇親会を開きました。その時青柳さんが、白山でのビデオを見せてくれたと、主人が言っておりました。東海地方の、災害はどうだったのでしょうか。ワングルのかたがたでその地方に住んでおられる人も多いので心配しています。この夏私たちは、ジジババになりました。孫にこんなに愛情をそそげるなんて・・・想像以上でした。

10期木津

白山への誘い、ありがとうございます。森川さんや青柳さんからも、初メールいただき旧交を暖めましたが、残念ながら都合により行けませんので、皆様によろしく。
実は、久しぶりの白山を満喫して来ちゃいま

た。

* 7月2日、例の奥様グループに誘われ、白山へ久しぶりに登りました。25周年白山登山以来の快挙です。

* 今週、厚子リーダーは長男の息子、つまり初孫のお宮参りに、お嫁さんの実家のある、静岡へ夜討ち朝駆けにて、ご主人とドライブしなくてはならず、そのための気合い入れにどうしても白山に登りたかったとのこと。白山頂上の展望台では、明後日はここよと富士山の方角を指さしておりました。おばあちゃんには違いないのに、元気なこと 元気なこと。
さつき挨拶にみえて、孫から元気もらってきたと報告ありました。

* 岐阜県白川郷の平瀬温泉より登る。
このコースは昨年は通行止めで使えなかったとのこと。小生にしても、別当出会、他の登山口は知らない。
平瀬登山口 8:50 出発 2回休憩、昼食タイムあり
室堂着 13:00
白山頂上 13:50
白山下山 14:30
平瀬着 17:00 その後は平瀬温泉(=銭湯)に直行

以上、登り5時間、下り2時間半の、ジジババ連の登山としては、登山道の整備も行き届いており、1km毎の立派な道標もあり、安心感を与える格好のコースかと思えます。途中すれ違った人達は、名古屋方面からの1泊の登山者が多かったようです。中には、前夜避難小屋で宴会して朝から頂上往復して、下山中のグループにも出逢いました。
但し、今年は雪が遅いのか、雪渓のトラバースが3ヶ所あり、空手でキャラバンもちょっとやっかいでした。特に、登りはいいけど、下りは、経験の少ないかみさんは完全に腰が引けてましたね。ステップの踏み込みと、バランスを保つには、革靴とストックが要りようでしたね。アイゼン・ピッケルまでは必要ないけど、すれ違う人の半数以上は、ストックを所持していました。

お花は数多くみましたが、名前の判明したのは一部、昔憶えたキヌガサソウ、ニコウキスゲ、そしてクロユリぐらいで、後は写真と図鑑で判明したものです。室堂の黒百合は印象的でした。

室堂の小屋小屋が使われていないようで閑散としていた。下る頃には、ガスってきて、霧で煙る裏の河原に行く、御婦人の方の後ろ姿は印象的でした。まずは、山行写真日記を参照あれ。

期再見 2000. 7. 7 木津 治男

11期井上

記念登山から一週間がたちました。皆さんのメールを見ていた母が一書。「私はさぼって登らなかったのではなく、仕事があったから行けなかっただけなのに・・・」そして、「井上家で一番登っているのは私よ!!」
だって蓼科山にも登っているんだもん。
五月の立山にも登ったわ。史三さんは足がつっていたけれど。」なあって、言っていました。

10月も白山を計画していたのですが、どうやらまたしても仕事で参加不可のようです。残念。(ここまでの文章は母のチェック済み、しかも10月末まで土日全部仕事だと付け加えるようにとの命令)

今回の登山で父はまだ体力がありそうだとわかりました。行く前に母から「お父さんが一番心配」と耳打ちされていたのですが、スピードこそないものの、足もつることなく、頼もしい姿でした。きつともっとゆっくり歩いて白山を満喫したかったんだろう・・・

聖子は10月も山に行きます。7. 8. 9日に妙高山へ行ってきます。地図を見てちょっと、大変かな?と思っています。ちなみに今回の白山で姉が初使用した、リュックなどその他は私の誕生日プレゼントだそう。(下りてきてから聞きました)10月にもう一度紅葉の白山に登りたいな。そして、深田 久弥の百名山写真コンテストに応募しよう。
今回は自信作が何作か撮れました。

山のシーズンが終わったら、今度はスキーだ。

久しぶりなので、練習しようっと。

せいこ

つい最近まで皆さんと長い間音信不通だった我が家が、まめになったのもe-mailと私のおかげでしょう。

父・母はすでに今年の山はあきらめ来年のスキーの話をしています。野沢にはうまくいけば、4人でいけるでしょう。しかし、ここ7. 8年スキーをしていないのでハード面からそろえなければいけません。10年前のウェア、15年前のスキー板。身体だけは最新です。

加藤さんへ

先日、送っていただいたビデオで最新のファッションを参考にさせていただきます。(^^) KUUVのHPなどをみると、なんて皆さんまめなんだろうと思い、我が父母を振り返りました。そこには、目をそらした二人が・・・(二人の結婚式の写真が先日の掃除で出てきました。焼き増しはしてありましたが、まだ送っていないそう。しかも、記念すべき二人の門出の写真はアルバムではなく、カメラ屋のビニールに入っていました) こんな、両親ですが何卒ご指導、ご鞭撻のほど二人になりにかわりまして、よろしくお願いします。

11期加藤

御嶽山登頂速報(今後、森川より詳報ありの予定)

10/7 快晴、
6:10森川家発(タクシー 近鉄、JR バス ロープウェイ)
9:30七合目着食堂にて山菜そば食す(森川はバスでほろ酔いにてコーヒのみ)
10:40頃登山開始
10:50行場小屋の力餅がうまそうだがバス。
11:30頃八合目女人堂着 小屋にてハヤシライス食す
13:00出発
途中 行動食の他吉野山物柿の葉寿司を食す。(森川は290円の助六寿司パック)
15:00頃九合目覚明堂着
15:30頃頂上ワンデリング(寒い)
17:30頃小屋帰着
晩飯すこぶる悪し。食えるオカズは金平ごぼうと森川の持ってきたふりかけのみ

それでもお茶漬けにして三杯の飯のお替りをしたが。

10/8

5:30起床 小屋の小窓からご来光。
上空晴れ、下界雲海 360度の展望

7:00発 二の池、賽の河原、三の池、四の池、最北継子岳までのんびりと縦走
途中バナナ、チョコレート、シュークリームなどの行動食のみにて昼飯抜き

それでも継子岳にて沸かしたドリップコーヒが最高にうまかった。

12:00五の池小屋下山開始

15:00無事濁河温泉着

飯がうまい!! つい、森川がお櫃のお替りをしてしまった。

10/9 曇り 露天風呂快適 朴葉味噌もあり朝飯がうまい!!

8:40発(バス 実に景色の良い道であった) 10:00JR飛騨小坂着

名物おばあちゃんの五平餅5本食す(森川は旅館の朝飯を食いすぎて1本のみ。)

11:10発(普通列車) 13:10頃美濃太田着 名物四季の釜飯食す

13:30頃発(普通)

14:00頃岐阜

14:12(快速)

14:27大垣

14:45(新快速)

15:20米原

15:26(新快速)

17:25西明石

17:30(快速)

17:33大久保

17:50頃我が家無事着

足が痛い割に体重があまりへっていなかった。何故だろう?

11期 森川

御嶽初登頂成功。補足説明。

1. K氏の食欲

10月7日 5:45味噌汁だけ

10月9日 7:00めし2杯

10:30山菜そばとバナナ2本

10:00五平餅5本

12:30ハヤシライス

13:30釜飯

15:00柿の葉寿司

17:30めし3杯

この馬力で山に登るのだから、同伴者は大変、但し、15分過ぎるとやたらに写真を撮りたがる。御蔭で、24枚撮り6本使用して、家で調べたら残りは1枚のみ。いくら、食欲の秋でも…。

2. K氏のナンバ術

(1) その1 10月8日御来光を見に行き、親子の女性をゲット。山小屋から二の池、サイの川原、三の池まで、約3時間デート。

(2) その2 10月9日飛騨小坂の真智で五平餅売りのおばさんゲット。御蔭でコーヒ御相伴になる。

3. 感想

御嶽は360度展望もよく、山頂の池巡りは白山とは趣が異なり、花の時期、夏にまた是非行きたい山である。有名な割りにゴミもなく、山道も歩かれた様子もない。四の池のように、水が溜まっていないのに、川として流れ(ロープウェイ山頂駅より見える)滝として落下している。濁河温泉は、国有地なので廻りは自然が残っており、湯の質もよく静かな温泉でした。是非

一度は味わって下さい。

相棒と天候と紅葉と温泉に恵まれ、クリマメの木とシラタマの木の実も味わえた優雅な旅でした。

・4. 写真参照方

森川です。
井上家ミレニアム登山2000天気を心配していたのですが無事下山おめでとう。
考えてみれば、雨男の●三さんがいるのだから少々天候が悪くてもあたりまえかな？

今年は暖かいので9月になっても、花が咲いているのでしょうか。美しい華を見れるのも、普段の心がけのよさかな。

ところで、お荷物の話がないが、道具を揃えたところまでは聞いたが父上は本当の登ったのかな？

9/11(月) 東海地方は豪雨にみまわれました。17時頃近鉄、関西線とも止まっているという話を聞きすぐ帰ろうと思ったが、雨が強く工場の道路も10cm程水が浸かっており少し様子を見ていた。19時頃車で帰る人に金山駅まで送ってもらったら、名鉄、JRとも止まっており、とりあえず、地下鉄で名古屋駅まで行くことにした。地下鉄の駅で同僚に会い話していると、高速バス(高速有料道路)で帰るとの事

名古屋駅で近鉄がいつになるか分からないとの事で、高速バス乗り場に行くのと、凄い列。どの列が確かめに前へ行った時、1時間遅れの「南桑名」行きバスが出るとの事。桑名に50数年住んでいるが何処か分からない。聞いた所、家から歩いて40分ぐらいの所。知らない人が多いのか乗る人も2/3程(因みに長島温泉行きは満席で立っている人もいた。)
バスは名古屋市内を通過して名四国道にでるまで1時間強かかったが、下水から逆流して吹き出す噴水、腰まで水に浸かって歩いている人、水に浸かって動けなくなった乗用車を尻目に走り、途中でUターンしたり、2時間で桑名到着。22時30分家到着。近鉄もJRもまだ止まっていたま。

9/12(火) 朝
近鉄は名古屋-四日市間で止まったまま。9時ようやく開通したので、会社へ行くこととして、名古屋へ行くが名鉄が動いておらず、また地下鉄経由で会社へ。会社で聞くと約1/3が家へ帰れなかったとの事。14時にJRの中央線が開通。前日帰れなかった人がおおく、また朝出てこれない人もいたので、15時に帰宅OKとなる。

今回は私としては「ついていた」としかいいようがない。いつまでも、この『つき』が続きますように！

11期芝田

白山の日は、女子どもが夏休みで旅行に出かけ、私は犬の世話のためにお留守番なのです。

ところで、金沢に戻ってきた津田を誘いだしませんか。工大の教授になって、高尾台に豪邸を構えているのかな？
それにしても、ノンリニアビデオ編集は難しい！

加藤君、VHS(と8ミリ)が届きました。おもむろに野沢のVHSを見たのですが、すごいじゃないですか！
最大限に学校の機材を起用しましたね。

わたしもたまにデジタルビデオ(シルクロードと欧州旅行が主)を編集しなくっちゃ。

これって、とにかくにも時間がかかるのですよね。その時間が苦じゃなくて、楽に感じられないととても出来る仕事ではありません。

で、感想を。
・小技(エフェクト)はできるだけ使わず、すなおなトランジションに徹する。
・思いっきりかっとして、簡潔にする。

じゃ、マックG3にFinal Cut Proを走らせて、私も挑戦してみるか。

ところで、節子編集長、原稿提出時の写真はjpgでもいいの？

では、白山をお楽しみあれ！

今、名古屋に向かうしらさぎの中。なかなか充実した一日でした。

きのう(3日)は、松本から金沢へバス。奥飛騨の紅葉はしっとり濡れていました。金沢から福井まで来朝、さらに勝山まで京福電鉄で1時間弱。

勝山駅には無料のレンタサイクルがあったので、それを借りることにします。ギアつきが無料とは嬉しい話です。(市役所がスポンサーのようです)。

駅から30分くらいこぐと平泉寺に着きます。夕暮まで境内を散策。平泉寺の村自体も。ゆるく傾斜した道にそって豊富に水が流れ、屋敷も富豪を思わせ、なかなか趣があります。

宿は平泉寺旅館といって、ちょっとした割烹(といっても食堂に近い)の上的フロアです。特に情緒はありませんが、平泉寺に近いのが取り柄です。

翌日、つまり今朝は6時に起きて谷峠にむかいます。4時間かかるかと心配した道がわずかに2時間。坂が思いのほか緩やかなのでした。途中にはずいぶん廃屋が目立ちます。

谷峠から白峰まではあっという間。資料館と袖のデモを見て、白峰は早々に去ります。下に行る北鉄バスが1日に3便しかなくなっているのには驚きました。

復路、谷トンネルの少し手前で右手に入る白木峰林道を上がります。しばらく行くと開けて白山がばっちり見えますね。そこにお目当ての「僻村学校」の新しい建物が二つ建っていました。あとは、トンネルをくぐって一路勝山に下るのですが、雑木林の紅葉はなかなかのものでした。

終日快晴。京福電車から振り返れば、白山がばっちり見えました。そして空は夕焼け色に。

以上、高橋治の「さまよう霧の恋歌」の現地検証の旅でした。

11期長岡

都内では、週半ばからミンミンゼミの声が聞こえ始めました。日々の通勤経路の途上にて、早春の頃には日々彩りを変えていた渋谷道玄坂のケヤキ並木はすっかり濃い緑一色で、ここで意外なことに鳴いています。

また、ここしばらくは、天気が安定しそうで、まもなくの白山でも好天と日焼けが待っている。(^_^)

その折、或いは旧盆の頃に北陸に行かれる方も多いと思いますので、以下、面白そうな所の道路事情です。実は、先週末に実家（富山県福野）往復の所用時などでの知見です。

・乗鞍岳：ここはご存知の方も多いと思いますが、ちょっと耳寄りの話を。

山頂駐車場脇では、ハクサンイチゲの花盛り。ほかに、登山道脇の砂礫地でコマクサなどもあります。観光地故に全般には大したことありません。今年はどこでも雪が多い中で、ここも例外ではなく、夏スキーの場所も例年に比べて大変な広さです。朝のうちは遠望できた白山東面にも、随分の雪渓が見えていました。

ここで、他言無用の、とっておきの場所をご紹介します：

5万分1地形図に、肩ノ小屋の東にある宇宙線観測所から、五ノ池・里見岳を廻って畳平駐車場に出る道が記されていますが、（ただし、現地は完全な廃道状態）観測所の敷地西端から、その方向と思しき方向（かすかな道跡）に進めば、開山の由来を刻んだ石碑などを集めた場所に出、ここから同方向に進めば、雪渓の詰まった窪地に出（その先が5つの池：溶岩堰止め湖）、雪渓の所から地形図どおりに右前方に進めば、お花畑の連続と形ります。ここが、観光客で一杯の乗鞍岳かと驚くような、「秘密の花園」。ハクサンイチゲ、チシマチドリ、コイワカガミ、ハクサンシャクナゲ、コバイケイソウ、ミヤマキンバイ、チングルマ、ちょっと早いクロユリ、などなど。なお、このルートは、その最上部から駐車場方向へは危険につきお勧めできませんので、往路を戻る必要あり。

・小口川林道から有峰ダム、双六川への大周回コース

ここ2年ほど通っておりませんが、晩秋の紅葉と新雪の頃は本当に良いところですよ。

東京方面からは、安房峠を過ぎて、双六川を渡る直前に、キャンプ場への案内に従って双六川の谷へ。

数km進んで、広い方の道なりに左方、山吹峠を越えて、森茂谷へ。昔はこの広い一帯が牧場だったものが今は面影もありません。ここから道標沿いに、料金所、トンネル経由で有峰の谷へ。ダム湖東岸の道は、ここ10年ほど閉鎖のまま。西へ向かってブナ林の中、時にカラマツ林中のドライブ。一旦、大多和峠へ上がることをお勧め。ここは、立山から薬師岳までの好展望。ただし、峠から跡津川への道は不通のまま（下の国道で確認）。再び湖畔沿いに戻り、祐延堰堤への道（小口川林道）へ入って、峠越え。このあたり、何ヶ所も展望良好の駐車スペースがあって、有峰盆地のブナ原生林を隔てての立山・薬師岳などが見事。以降は、小口川沿いに常願寺川から富山平野へ。

以上、大変良いところの割には、人の少ない地です。夏のこの時期でも、ブナの原生林など、それなりに自然を楽しめます。

今回、日数が無くて、手取川上流域には行きませんでしたので、この方面は割愛。なお、話題としては、3年ほど前の災害でずっと不通となっていた新岩間温泉へは開通など。

・白木峰（5万分1地形図名にあり）
富山県八尾町の南の大長谷から林道があって、林道終点の駐車場から徒歩30分で広い笹原の

山頂（標高1600mほど）。天気に恵まれれば、能登半島、北アルプス全域、白山などの大展望。（本当は、空気が澄む秋がお勧め。晩春にはスズタケ（ネマガリダケの筍、食用）が沢山）

・医王山

金沢側の見上峠から夕霧峠への道は、3年ほど前からの道路決壊・不通のまま（夕霧峠での表示）。

しかし、実家の富山県側から行ってみたところ、福光町の南の糸谷（スキー場に登ってしまふと、行き止まり注意）から、山頂部の夕霧峠（金沢がよく見える）まで問題なし。ここから北の方へ、国見峠経由で、県境の国道トンネルの所までの林道も可。以上、全線舗装。砺波平野の散村から能登半島まで展望の、一周3時間ほどのコースです。

・五箇山からブナオ峠

3年ぶりくらいで、西赤尾のゲートが開きました。しかし、以前に村役場に聞いたところでは、峠から刀利ダムへは不通のままとのこと。

・庄川上流域

天生峠までは可ですが、峠から河合村へは抜けられません。

大白川の林道は、災害復旧が終わって開通。しかし、時間規制多し。

・同、利賀村方面

最奥の、水無ダム方面から岐阜県へは当然無理。別に、百瀬川の奥（金剛堂山登山口）から、峠越えてダム上流に入ることは出来ます。村自身は、これまでやってきた「世界演劇祭」がつまらぬ事情から中止になって、ひっそり。今頃、蕎麦祭りだったとは思いますが、水無ダムかなり手前から、牛首峠経由で白川村へは、昨年晩秋まで問題なかったものの、廃村記念碑あたりで崩壊不通。

12期津田

いつも楽しいお便りうれしく拝見しています。約2年前に金沢へ戻って以来、KUWV-OBの皆様にお会いしたいと思いつつ果たせないでいます。

。今回もせっかくの機会ですが、8月3～7日は大学の用事で四国、関西へ出張しなければなりません。また今度、ぜひ一緒にできれば幸いに存じます。

草々

15期上馬

7月31日

フェーン現象でここ何日か、暑い暑い金沢です。30日は36.7度、本日は37.3度と今夏最高となりました。なお、輪島では38.1度を記録したそうです。

そんな暑さを避けて、29～30日に赤兎山へ行って来ました。午後に出発して、避難小屋に泊まり、朝帰って来るという計画でした。星空と、夕日、そして白山からの朝日を期待しての山行でした。金沢14:00発。青空の広がる下界とは異なり、白峰から見た白山は頂上部がガスの中でした。登山口16:05着、16:15発。上空は雲の流れが速く稜線はガスの中。ノリウツギとヨツバヒヨドリがたくさん咲いている植林地から、やがてブナの二次林へ。途中、流れに出るたびにタマガワホトトギスが咲いていました。

小原峠から赤兎山にかけては、ぬかるんでいるところが多く、足の踏み場に少し困りました。途中、ブナ林の間から経ヶ岳や大長山、そし

て福井の平野部が見え、ササ原に出てからは、アカモノの実がたくさん目につきました。18:00山頂着、ガスと強風で何も見えず。湿地では、ニッコウキスゲの実とキンコウカの花が目立ちました。また山頂から避難小屋にかけては、木のりっぱな階段や木道が建設中でした。

小屋では、西宮からの男性2人と芦原からの夫婦（いずれも50～60代）と5人で泊まりました。午前中は駐車場が車でいっぱい、道路にもあふれていたそうです。でも、時間はずすと静かな山でした。

30日朝も、山の上は霧雨と強風で、あきらめて下山しました。また、日を変えて行こうと思っています。

「花・星・人 in 南竜」まであとわずかとなりました。

体調がよければ、市ノ瀬からチブリ尾根に登り、別山経由で南竜に入ろうかと考えています。5日の朝5時に市ノ瀬を出発し、ゆっくり登り、南竜には午後3時ごろに着く予定です。ただし体調がよくなければ、別当合から登ります。

もし、同行してもよいという方がおられましたら、連絡してください。

15期宇野

白山の前日は白峰に入ります。間所、竹内、鈴木同宿です。前夜祭やってから行きます。白山でお会いしましょう。

15期坂尻

ようやく秋を実感できるようになりました。

ハッピーマンデー法の成立で、3連休になるのんびり、ゆっくりしています。本当は、学校は7日の土曜は第1週なので休日ではないのを、第2週の14日と入れ替えるという教育委員会のお達しで3連休をしています。

今年のワングルOB行事には、どうやらことごとく日程的な問題で参加できないようです。非常に残念。「お花見」は地区の春祭り、「春の小屋酒場」は親戚に不幸があって、急遽不参加。「夏の白山」は出張で名古屋。「秋の小屋作業」は修学旅行の引率で北海道。近くにいても、今年はどうやら一回も参加できずに終わりそう。いつもそんなに忙しいわけでもでもないのに・・・

一昨日、昨日は「コケ取り」に近くの山へ入りました。「コケ」は能登ではキノコのこと。猛暑とそれに続く暑い9月だったので、キノコの出は例年より一週間以上遅れて、ようやくシーズンイン。シバタケ、ヌノビキ＝サクラシメジ、イッポンシメジ＝ウラベニホテイシメジ、スギヒラタケなどが思わず大量に取れて、なかなか満足のコケ取りでした。次々と遅い方のキノコが登場するので、また出かけようと思っています。

秋の小屋酒場に参加される皆様によろしく。

15期松林

私事ですが、今年より始めたPW（パーソナル・ウォーキング）「北陸道参勤交代の旅」は、野々市を出発して、富山県の泊まで到達しまし

た。次回で加賀藩領を抜け、親不知を越えて越後に入る予定です。雪が降る前に信州に入りたいと思っているのですが、休み度に一人で出かけることに、女房の風当たりがきつくなっており、思うに任せません。ゴール（お江戸日本橋）の見通しが立たない状況ですので「やまざと」へ寄稿できるのがいつになるかの見通しも立ちません。悪しからず、ご了承ください。

15期渡辺

先日、津幡高校の修学旅行で坂尻先生が来れされました。たいへん短い時間ではありましたが、スナックで一献しました。22時の部屋周りをさぼって飲み続けたので、その後の先生の状況が心配です。

15期 三宅 毅

いつまでも暑い日が続きますね。この四月に東京に単身赴任して半年、やはり家族と離れて暮らすのは寂しいものですね。

仕事も順調な時はいいのですが、会社も含めてまだまだ景気が悪い時期ですので、苦勞しております。

最近、身近な人間で体調を悪くする人も多く、健康には気をつけないといけないですね。もう若くないですものね。

涼しくなったら、東京の下町歩きをまた始めようと思っています。

17期渡辺

この度の水害では我が愛知県西枇杷島町の状況が全国ニュースに流れて一躍有名になってしまったようです。自宅は物置と車庫が浸水しましたが幸いなことに住宅は浸水を免れました。同期をはじめ皆さんにご心配をおかけしました。ありがとうございます。二晩避難生活をしていて時にワグネル時代の沈澱を思い出しました。違うのは不安の大きさです。シュラフと非常食を持参しましたが「しっかりしているわ」という嫌な視線も感じましたが、災害には備えるしかありません。行政は非常時には全く機能しなくなります。OBの皆さんにおかれましてもワグネルのノウハウを活かして準備されることをお奨めします。

17期藤野

ご無沙汰しております。US駐在5年目の後半を迎え、そろそろ帰る仕度（心だけですが）を考えている今日この頃です。今回、Yellowstone、Grand Teton のミハール観光をしてきました。Yellowstoneは日本の地獄谷を大きくしたようなもので、期待はずれ、しかしGrand Tetonは結構良かったですよ。日本の北アルプスを思い出させる山容でした。有名な噴泉塔、パワフル、Grand Teton、花の写真を添付しました。ご覧下さい。

18期井上

ご苦労様です。OB通信で金沢や懐かしき倉谷の様子を知ることができ大変楽しみにしています。このところ、気温の変動があり風邪を引いて

いる人が多いようですので、千葉と金沢の2重生活で体調を壊されないように気をつけて下さい。

18期大西

ここ大阪は蒸し暑い梅雨が続いています。暑くとも雨のない夏が待ち望まれます。

さて、この4月、名古屋から大阪に家族ともども引っ越してきました。(転勤は昨年10月、今年4月まで単身赴任でした)連絡が遅れたのは、引越しにあわせてプロバイダーを変更したのですが、ケーブルモデムが手に入らないという事で今日までインターネットの利用を待たされたのです。

署名欄に新連絡先を記してあります。

さて、火・星・人 in 南竜は何名集まったのでしょうか。楽しみにしています。では、また連絡いたします。

21期 中村 元風

拝啓 残暑厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、9月15日～17日に、白萩の花が満開の地元大聖寺実性院で行なわれる私の個展についてご案内させていただきます。

かねてから、一生のテーマとして山を描きたいと思ってきました。この度、ホテル百万石さんの御依頼もあり、白山を最初に、日本百名山を題材に作品造りを始めました。今回はその成果を一部を見ていただくことと、永遠のテーマである、古九谷をもとにした今九谷のその後の展開も見えていただければと思います。

何かと忙しい時期かと思いますが、林社中による御煎茶もご用意致しました。是非御高覧いただければ幸いに存じます。

24期仲村

いつもOB会報「やまざと」拝見させてもらっています。二十年ほど前のことがつい昨日のように思い浮かびます。毎日の暮らしの中で登山における躍動感の記憶は、忘れがたいものがあるようです。やまざとに目を通していたら金沢大学ワンダーフォーゲル部のホームページのアドレスが載っていたので気になってアクセスしました。

個人的なことは今度ホームページを開いたのでそちらの方もよかったらみてください。
ホームページアドレス：
http://www.geocities.co.jp/Bookend-Soseki/4263/sartre3room_001.htm
E-メールアドレス：sartre3@nsknet.or.jp

26期昌山

6年振りです。二つの夏山に行ってきた。一つは白馬岳、大雪渓を滑りに日帰り。今年はどこに行っても残雪が多く、白馬虎小屋前から上部標高差1300m、小雪渓を経て稜線まで途切れることなく雪がありました。岩小屋付近の急斜面の滑降を楽しみに登っていくと、頂上付近は強風でやがて雨が降り出しガスも下りてきて、雪の表面が堅くて下部斜面が見えなくなったので岩小屋付近は一般路を歩いて下りました。スプーンカットが深く石が多く、雪面も堅く雨が降っているといった最悪の状況でした。10年ほど前、6月にここを滑ったことがあります。この時は日本海の親不

知から梅海新道をスキー担いで登ってきたのですが、雪の状態が良く最高のフィナーレでした。梅雨期間の降雨によってかなり雪面が荒れてしまうようです。白馬はメジャーなだけあって、登山者が数珠つなぎで登っていて、滑っている最中いちいち注目されるのには閉口しました。大雪渓のこの時期の滑降を選んだのが間違いでした。

次は剋岳、1泊2日で長次郎雪渓へ。クライマーのコールだけが聞こえる静かな左股を詰めて長次郎コルへ。八峰と源次郎のフェースに囲まれた岩と雪のダイナミックな景色は何度来ても感動的です。長次郎のコルから熊の岩までの傾斜35度の大雪面がこの日のハイライトです。コル直下のクレパス脇の平らな雪面でスキーを履いていざスタート。雪上訓練をしている学生パーティーの脇を飛ばしていきます。思えば学生時代にはこんな山行、考えもしなかったと思います。急な雪渓はピッケルにアイゼン、キックステップで、絶対に滑ってはいけないところ、滑ったら即滑降停止が常識でしたから。しかし、ロッククライミング同様テクニックがあれば安全に滑降可能なのです。チンネの崖壁ですら雪がついていれば滑れる人はいると思います。白馬雪渓に比べてスプーンカットが浅く、日が当たって緩んだ斜面は比較的滑りやすかったのですが、それでも90cmのショートスキーでは階段を滑り降りるが如く足がぶれるので私の技術ではジャンプターンなどできません。大きなギャップで飛ばされないように、これを避けるようにして不規則なターンで対処します。スキーの性能はグレードアップしたものの、技術や体力は低下しているようです。

平蔵谷は剋沢の出合いから一直線にコルまで突き上げています。以前ここも滑ったことがあります。上部は40度程の傾斜で、スプーンカットの雪質ではかなり難しかった記憶があります。6月頃のザラメ雪ならばジャンプターン可能で快適な滑りだったと思います。今後の楽しみです。

雷鳥沢も剋御前小屋のすぐ下まで雪があったのでもちろん滑って下りました。長次郎に比べれば雪が柔らかく緩やかで快適なウェーデルンでした。春から続いた山スキーシーズンはこれでおしまいです。以前は秋に涸沢で滑っていましたが、11月頃に初雪が降るまでスキーは倉庫にしまっておきます。その間、石だらけの堅い雪面ではぼろぼろになった滑走面とエッジのチューンアップをしないといけません。写真を貼付します。それでは。

41期 長谷川 夏樹

お久しぶりです。この度は、ワンゲルOBの心のよりどころ「やまざと」をお送り頂きありがとうございます。現役への連絡係を清水君が受け継いでくれているようで何よりです。

北海道に入植し、エゾジカが家のまわりを走り回っているような生活を送っています。本来なら、ゲル経験をいかして楽しみたいところですが、研究などに追われ余裕が持てず、フラストレーションが溜まる生活を送っております。現在のところゲル経験がいかせるのは、お酒の場のみとなっています。

今後、余裕が出ましたら、道東を中心に北海道でゲルの活動をしていきたいと思っています。その際は、何らかのご報告ができればと思っています。それでは、今後ともよろしくお願い致します。